

令和2年度 学校評価まとめ

学校評価の公表について(手段・時期等)		ホームページ上にて公開
領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営 教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信により、保護者が経営方針や教育目標を理解し、肯定的な評価が得られている。メディア等でも、生徒が生き生きと活動している様子が取り上げられ、素晴らしい PR が出来たのではないかと。今後も、「市民の期待と信頼に応える」学校づくりを推進していただきたい。 ・コロナで様々な業務が増えている現在、教職員の労働時間の短縮を進めるのは大変なことと思うが、教員のウェルビーイングを実現するために重要なことと思う。特に管理職の労働時間の短縮は後回しになりがちなので、ご注意願いたい。 ・積極的な目標や方針をさらに徹底して、期待と信頼に答え親身の相談を強化してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育目標や特色ある教育活動について、近隣中学校等に対して、積極的にPRすることにより、本校に対する正確な認識を持っていただく。 ・生徒の心身の健康を第一に考え、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努め、生徒の学びを止めないために、最大限の努力を尽くした。 ・確かな学力と豊かな心・健やかな体を育み、生徒の総合的な人間力向上を目指す。 ・教職員がこれまでの業務内容を見直し、常に短時間かつ高い効率の業務改善の意識を持ちながら、チーム学校として教育活動に取り組む ・ICカードによる出退勤システムの変更により、自己研鑽の時間を管理するなど、より勤務時間を意識するように働きかけた。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導において、様々な制限がある中で、生徒・保護者ともに肯定的な回答が得られている。45分授業やClassiの効果的な活用の成果と思われる。 ・アクティブラーニングを積極的に導入されているとのことだが、どの教科でどのようなアクティブラーニングが行われているかを知りたいと思う。また、それぞれの先生が行われている方法を整理・共有することで、学校全体でよりよい教育が実現するのではないかとと思われる。さらにその取組をSNS等で発信することで生徒募集につながるのではないかとと思われる。 ・少人数学級を可能な限り進めて、対話を深め自主的学習を促すことにより、学習への意欲や喜びが湧く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力向上を図り、教員相互の授業参観を積極的に行い、さらなる授業改善を図る。 ・少人数習熟度別授業において、個及びグループ内で思考し表現する機会を更に増やし、次期学習指導要領に対応した新たな効果的指導法の研修に励む。 ・Classiを有効活用し、生徒や保護者へ正確な情報を迅速に情報発信することに努めた。また、オンライン授業の実施などにより、学習の機会の確保を継続的に行う。 ・個々の職員が授業アンケートの結果を真摯に受け止め、指導力強化と授業改善に努める。 ・5月までの臨時休校の影響で、学習の遅れが懸念されたが、様々なアイデアと工夫のもとに、効率的な学習により、1年間の学習内容を終了することができた。
キャリア 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者評価の「進学や就職などで十分な実績を上げている」の項目において、学年が上がるほど肯定的な評価が増している。生徒個々に寄り添ったきめ細かな対応の成果であると思う。 ・人生100年時代であり、現在の若者の半数程度は寿命が100歳を超えと言われており、人生が長くなることによって、新世代の人生モデルをそのまま適用することが困難になってきており、新たな状況に即した人生の展望が必要である。進学先や就職先を考えることはとても重要だが、それだけではなく、どのように長い人生を生きるかを考えさせる機会があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学進学希望者のみならず、公務員や民間就職希望者に対して、早い段階から適切な職業観や勤労観が身につくよう専任の指導教諭を配置し適切に指導する。 ・機会をとらえて外部から多種多様な職業人を招いた講話の機会を増やす。 ・大学入試共通テストの導入や新型コロナウイルス感染防止対応など、進路指導上の様々な課題に対して、教職員が一体となって取り組み、一定の成果を上げることができた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・進学や就職で、戸惑わずスムーズにスタートが切れるよう教育基本法、労働基準法、憲法などの再学習で多様化する社会に順応できるようにしたい。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校の様子から、落ち着いた生活態度が感じ取れ、生徒の規範意識の高まりがうかがえる。中学生にとって好影響を与えていただいていることに感謝したい。一方、SNS等の使用については、中学校でも課題の一つであり、指導に苦慮している面もある。また、不登生徒への対応も大きな課題となっている。今後、益々の連携強化が不可欠であると思われるので、生徒指導連絡協議会等を活用し、情報交換を進めていきたい。 ・市立銚子高校の生徒は総じてマナー意識が高いと思う。ただときどき、駅で集団おしゃべりをして、やや通行の邪魔になっていることがある。引き続きマナーアップ指導を行っていただきたい。 ・いじめ、不登校、長欠、転校などの実態を常に共有しカウンセラー、ソーシャルワーカー等との相談を強め保護者とも認識を合わせ改善を図る。 ・いま問題になっている服装、頭髪などの規則について生徒が「自由」を考える機会としたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会等と協力し、行事や朝の声かけ運動などの活動をとおして、通学マナー向上と学校の活性化を図る。(朝の声かけ運動や自転車マナーアップ) ・スマートフォンやSNSの適切な使用方法について外部講師による講演などを積極的に活用する。 ・入学前に、中学校と連携し情報交換を十分に行い、状況を把握し、1年次クラス編成に反映させるなど、丁寧な不登校対策を図る。 ・スクールカウンセラー、スーパーバイザー、スクールソーシャルワーカーなどを活用し、教育相談体制を充実させ、職員研修などを通じて、全職員が共通理解のもと、不登校生徒等の一人ひとりのニーズに対して、柔軟に対応することができた。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にあって、様々な活動が制限されたにも関わらず、生徒・保護者の肯定的な回答が8割を超えたことは素晴らしい。職員の皆様や生徒会を中心とした創意工夫ある取組の成果と思われる。 ・コロナ禍で様々な制約がある中、市立高校の先生方は生徒のためにかなりの努力をされていると感じる。感染のリスクをうまくコントロールしつつ、可能は範囲で特別活動を行ってほしい。 ・主体性のある生徒会活動を大いに推奨し、高校生らしい独自の企画を促すと共に、SDGsなどの時事問題をとらえて校外学習や地域交流を深める。 ・コロナ禍での学校・家庭での対応などの報告。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会との定期的な懇談の機会を通じ、学校行事の精選・生徒の福利厚生意見を吸い上げ学校運営に生かす。 ・部活動について適切な休養日を設定し、部活動時間の適正化を図り、事故防止に配慮しながら活動を推進する。 ・新型コロナウイルス感染症の防止対策を徹底したことで、文化祭代替行事、修学旅行やスポーツ大会などの学校行事も工夫をしながら、充実した教育活動が展開できた。
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・整った教育環境の中で、生徒が生き生きと学校生活を送っている様子がうかがえる。今年度が感染対策により、美化活動よりも消毒業務に重点を置かざるを得なかったことと思う。次年度は、1学級減に伴い、スペースも空くと思うので、生徒のために有効活用を図ってもらいたい。通学環境や学習環境等の整備の充実に、今後も継続して努力して欲しい。 ・いつ伺っても清掃が行き届いていると感じる。 ・町内のシンボルである貴校と共に春日台自治会としても通学路や校外環境などを常に共有し、意識的にその改善に取り組む所存である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動との調整を図りながら計画的な整備を進め、教育環境の充実と美化活動を推進する。 ・クラス減によってできた空き教室(3階1年次フロア)については、授業、補習、会議等、様々な活用ができるよう当面は講義室として使用している。次年度も空き教室が出るため、活用については検討したい。